



2007年3月期決算説明会

2007年5月17日

証券コード 5017

AOCホールディングス株式会社

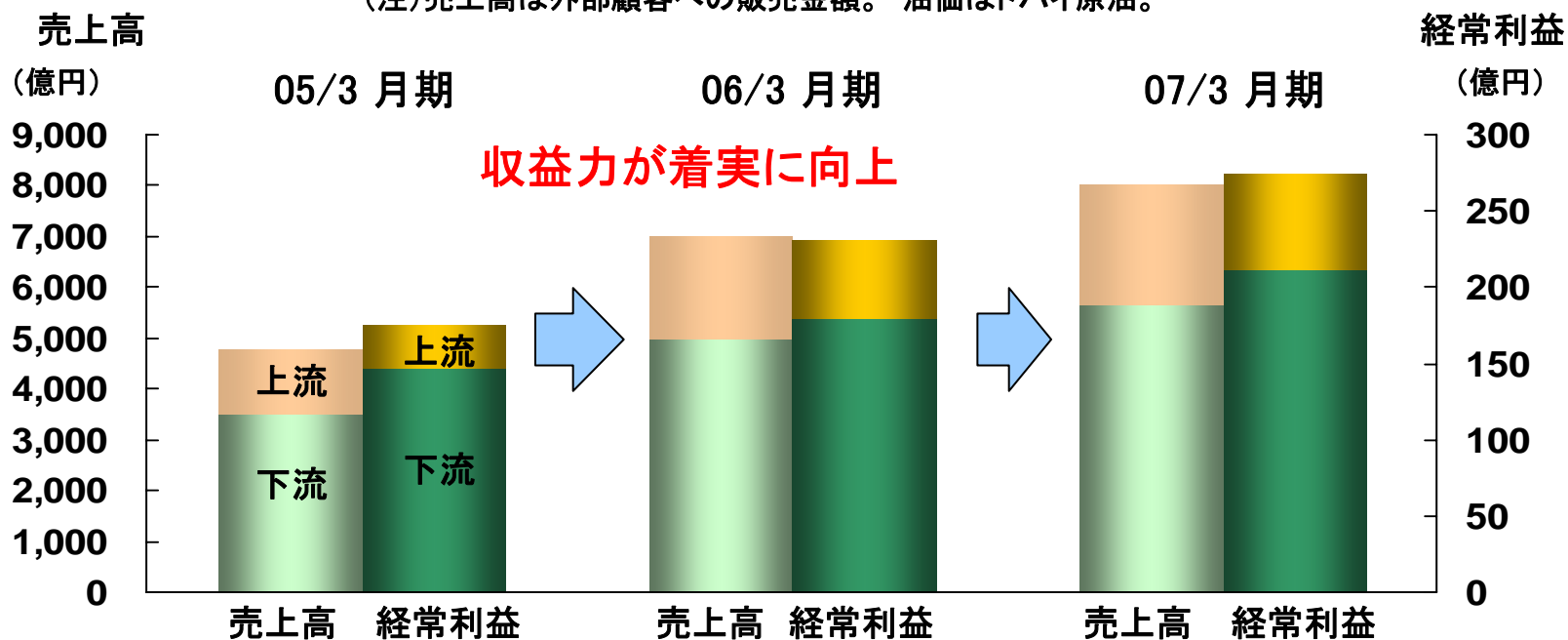
www.aochd.co.jp

07/3月期 連結決算の概要

実質営業利益(除在庫影響)は62%増

(億円)	07/3月期 \$60.8/Bbl ¥117/\$			06/3月期 \$53.5/Bbl ¥113/\$			増減額 \$7.3/Bbl ¥4/\$円安		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計(増減率)
売上高	2,378	5,631	8,010	2,003	5,009	7,013	374	621	996(14%)
営業利益 除在庫影響	59	196 134	256 194	33	164 86	198 120	25	32 48	57(29%) 73(62%)
経常利益	63	210	274	51	180	231	11	30	42(18%)
当期利益	47	142	189	80	260	340	△32	△117	△150(△44%)

(注)売上高は外部顧客への販売金額。油価はドバイ原油。



セグメント別売上高/営業利益

内部取引 消去後 (億円)	07/3月期			06/3月期			増 減		
	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カフジ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売
売上高	2,275	103	5,631	1,926	76	5,009	348	26	621
営業利益	△1	61	197	1	32	164	△3	28	32

売上高/営業利益増減分析:

	増加要因	減少要因
売上高		
カフジ関連	油価上昇 +13%	
石油・天然ガス/開発関連	販売数量増加 +2%	
石油精製/販売	油価上昇 +22%	エコフィスク原油販売減△14%
	南海ミディアム原油販売増 +7%	
	単価上昇 +18%	
営業利益		
カフジ関連		派遣人員減少 △2億円
石油・天然ガス/開発関連	油価上昇 + 25億円	一般管理費の増加 △1億円
	南海ミディアム原油販売増 + 4億円	エコフィスク原油販売減 △1億円
石油精製/販売	化成品の-margin拡大 + 55億円	在庫影響 △16億円(78→62億円)
	原油重軽格差の拡大	石油製品の-margin縮小 △17億円

原油販売量／販売価格

	販売量(千バーレル/日)			販売価格(\$/バーレル)	
	07/3月期	06/3月期	増減(%)	07/3月期	06/3月期
クウェイトとの売買契約による販売原油	100.2	98.2	2.0		
カフジ原油	95.2	93.2	2.1	55.73	49.19
フート原油	5.0	5.0	0.0	60.75	53.85
権益原油	3.7	3.6	2.8		
南海ミディアム原油(中国南シナ海)	3.1	2.9	6.9	63.78	52.15
エコフィスク原油(ノルウェー領北海)	0.6	0.7	△14.3	65.25	53.42
合計	103.9	101.8	2.1	—	—

増減要因

- 南海ミディアム原油
 - ・新規掘削／既存井の改修による生産能力増
 - ・台風等生産への影響軽微
- エコフィスク原油
 - ・掘削作業の変更

石油製品販売量

(千KL)

	07/3月期	06/3月期	増減(%)
揮発油	1,888	1,771	6.6
ナフサ	489	347	40.9
ジェット	1,246	976	27.6
灯油	340	499	△31.8
軽油	1,395	1,119	24.7
A重油	334	580	△42.5
C重油 (内電力向け)	726 (438)	1,178 (699)	△38.3 (△37.4)
ベンゼン	153	148	3.8
キシレン	311	283	9.7
その他	557	523	6.5
小計	7,439	7,424	0.2
ジョイント・バーター	1,299	1,333	△2.5
合計	8,738	8,757	△0.2
内、輸出量(除バンカー)	132	105	26.3
原油処理量	7,540	7,396	1.9

連結貸借対照表の主な増減項目

	07/3月期	06/3月期	増減額	増減要因 (億円)
流動資産	2,057	2,174	△117	売掛金 △100 有価証券 △77 棚卸資産 +73
固定資産	1,797	1,323	474	
有形固定資産	1,050	861	189	FCC等投資額 +182
投資その他の資産	729	447	282	KGOC貸付等 +208 探鉱費資産化 +30
資産合計	3,854	3,498	356	
流動負債	1,514	1,517	△3	
固定負債	906	771	135	長期借入金純増 +126
負債合計	2,421	2,288	133	
純資産合計	1,432	1,200	232	当期利益 +189 自己株式処分 +39 配当 △11
負債純資産合計	3,854	3,498	356	

KGOC(Kuwait Gulf Oil Company) : クウェイトとの技術サービス契約および融資契約の相手先

自己資本比率 37% **DELシオ 0.6** (除 KGOC貸付見合いの借入)

連結キャッシュフローの状況

(億円)

	07/3月期	06/3月期	増減	07/3月期説明
営業活動によるCF	179	△237	416	税前利益 +272 売上債権減少 +101 たな卸資産増加 △73 法人税支払 △91
投資活動によるCF	△524	133	△658	有形固定資産取得 △229 KGOO貸付等 △213 探鉱開発投資 △30
財務活動によるCF	291	103	187	短借純増 +139 長借純増 +127 自己株処分 +39 配当 △11
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	9	△8	
現金及び現金同等物の増減	△52	9	△62	
現金及び現金同等物の期首残高	310	299	10	
非連結子会社合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	0	0	
現金及び現金同等物の期末残高	257	310	△52	

08/3月期 事業環境・事業計画の概要

▶ 事業環境

- ・ 原油価格は堅調な需要と供給不安を背景に高値圏で推移
- ・ 原油重軽格差は現行水準で継続
- ・ 国内石油製品需要構造の変化(重油減少)
- ・ 化成品市況は堅調に推移

▶ 事業計画

上流事業

- ・ クウェイトとの技術サービス契約(更新交渉中)の下でのカフジ事業と既存石油生産事業の維持
- ・ 原油販売計画: 102.7千バレル/日
- ・ 新規上流案件の発掘・事業化を継続

下流事業

- ・ 袖ヶ浦製油所の高稼働操業を維持
- ・ 石油製品販売計画: 8,023千KL
- ・ 第2流動接触分解装置(FCC)の完工/ユリカ装置増強に着手

見通しの前提

- ◆ 原油価格: ドバイ原油 \$ 56/bbl
- ◆ 重軽格差 AL-AH : \$ 5/bbl
- ◆ 為替レート: 115円/\$

08/3月期 原油・石油製品販売量

原油 (千B/D)

	08/3期	07/3期	増減(%)
カフジ原油 (売買契約)	95.0	95.2	△0.2
フート原油 (売買契約)	5.0	5.0	0.0
南海ミディアム原油 (権益原油)	2.2	3.1	△29.0
エコフィスク原油 (権益原油)	0.5	0.6	△16.7
原油計	102.7	103.9	△1.2

(注) 南海ミディアム原油は貯蔵・出荷施設のドライドックにより3ヶ月間生産停止

石油製品 (千KL)

揮発油	1,868	1,888	△1.0
ナフサ	400	489	△18.2
中間留分	3,482	3,315	5.0
C重油 (内電力向け)	617 (485)	726 (438)	△15.0 (10.8)
ベンゼン・キシレン	482	464	3.8
その他	554	557	△0.4
小計	7,403	7,439	△0.5
ジョイント・バーター	621	1,299	△52.2
石油製品計	8,023	8,738	△8.2
内、輸出力 (除バンカー)	432	132	227.3
原油処理量	7,570	7,540	0.4



08/3月期 通期連結業績見通し

実質営業利益(除在庫影響)は46億円減、主に一時的な要因 単位:億円

	08/3月期 \$56.0/Bbl ¥115/\$			07/3月期 \$60.8/Bbl ¥117/\$			増減額 △\$4.8/Bbl △¥2/\$		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計(増減率)
売上高	2,112	4,888	7,000	2,378	5,631	8,010	△266	△743	△1,010(△13%)
営業利益 除在庫影響	0	135	135	59	196	256	△59	△61	△121(△47%)
		147	147		134	194		13	△46(△24%)
経常利益	△4	119	115	63	210	274	△67	△91	△159(△58%)
当期利益	△3	53	50	47	142	189	△50	△89	△139(△74%)

セグメント別 明細 (内部取引 消去後)	08/3月期			07/3月期			増減		
	カブシ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カブシ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売	カブシ 関連	石油・ガス 開発/ 生産	石油 精製/ 販売
売上高	2,048	63	4,888	2,275	103	5,631	△227	△40	△743
営業利益	△2	2	135	△1	61	197	0	△59	△62

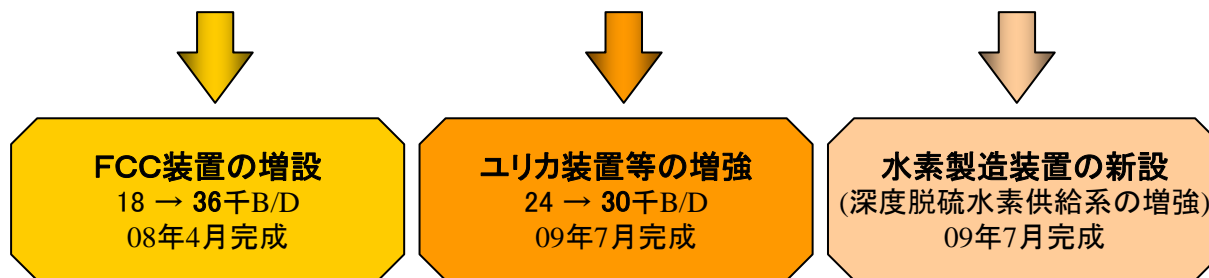
営業利益の増減要因	上流	下流
増加要因		販売油種構成の調整によるマージンの拡大 +13億円
減少要因	原油価格の下方設定 △14億円 中国南シナ海貯蔵・出荷施設ドライドック (3ヶ月生産停止) △26億円 探鉱費 △17億円	化成品のマージン縮小 △1億円 在庫影響 △74億円(62→△12億円)

(注) 売上高は外部顧客への販売金額。油価はドバイ原油。

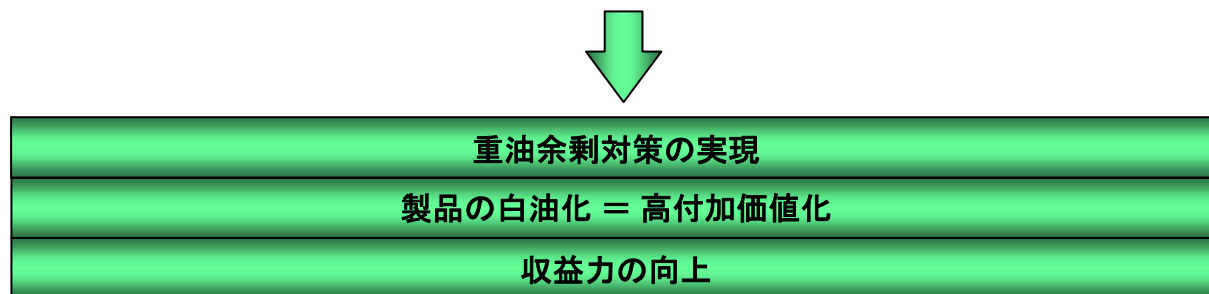
重油余剰対策に係わる設備増強

需要構造の変化 = 重油需要の減少


低硫黄C重油 高硫黄C重油 A重油



処理原油の一層の重質化
(原価低減)
API 31.6 → 30.9



ユリカ熱分解装置



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



www.aochd.co.jp/

お問い合わせ先：

IR・広報部 関川、粕谷